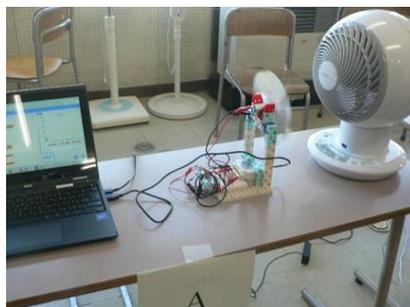


教科の面白さを発信！！

全校生徒を対象にオンラインで、毎週金曜の朝自習の時間、各教科担当がその教科の面白さを伝える試みを行っています。

○教諭（技術）

技術分野の目的は、実生活の中での問題解決にあり、様々な環境や状況の中で最適解を見出すことであると話していました。今回はプロペラの形状を工夫することで、効率良く電力を生み出す風力発電にチャレンジしました。すばらしい実験装置でした。

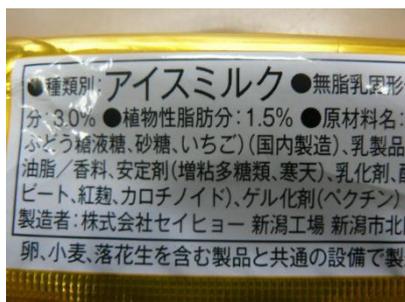


季節風を利用した秋田県の風力発電の様子も紹介。

最適解を見出す

T教諭（家庭）

生徒にとって身近なアイス教材にし、食品の成分に関する知識を持つことの大切さを話していました。食を通して、生活をより良く楽しいものにするためには、一人一人が自立した消費者になることが重要であり、それは毎日の積み重ねであることを示しました。



M教諭（保体）

「世界のびっくり人間」様々な競技で世界記録を保持している方を紹介し、そのすごさを分かりやすく伝えるとともに、生徒には「自分にとっての新記録」を目指してほしいと話しました。100m走 20 秒の生徒が 19 秒になれば、それは「できた！」であると伝えました。



ちなみに、世界のびっくり人間には、100mを9.58で走るボルト選手、走り高跳びで2m45cmを跳ぶソトマヨル選手、走り幅跳びで8m95cmを跳ぶパウエル選手、マラソンで42.195kmを2時間35秒で走るキプタム選手などがいます。